

亜急性期病床のご案内

亜急性期病床を開設した理由

患者さんが入院治療後早期に自宅に退院できるのが理想ですが、病気の種類や治療状況によっては、在宅復帰支援・介護施設復帰支援が必要な患者さんも少なくありません。ところが、現在の医療体制では、「入院療養をもうしばらく継続したい」というご要望に沿うことが難しい状況です。このような患者さんへの支援機能として、亜急性期病床を開設いたしました。

当院の

亜急性病室です。



亜急性期病床で行われる主な医療行為

亜急性期病床では、在宅復帰・介護施設復帰のために、医師・看護師のみならず、医療ソーシャルワーカー、理学療法士、薬剤師、栄養管理士などが協力して、チーム医療を行います。

その中でも、特に、在宅復帰に向けての社会資源（サービス）の調整、日常生活の維持向上のためのリハビリテーションを主に行います。

※亜急性期病床での他科への受診は制限する場合がございます。

他科受診のご希望の方は事前に、看護師までお知らせください。



亜急性期病床を利用できる方（最大 90日間）

亜急性期病床は、在宅あるいは介護施設に復帰予定の方であれば、どなたでもご利用できますが、主に次のような患者さんが当てはまります。

- ① 入院後の治療により状態が安定したが、もう少し入院療養をご希望になる方
- ② 入院後の治療により状態が改善したが当院にてもう少し経過観察が必要な方
- ③ 入院後の治療により症状が安定し、在宅復帰に向けて積極的なリハビリテーションが必要な方。

ご不明な点は、医療情報室、または、看護師長にお尋ねください。